

こまつしまリビングラボ・イノベーションキャンプ報告会
地域活性化・地方大学・そして私たちの役割を考える
〈Hank Kune 氏・吉田敦也先生と話そう!〉

■日時：2018年11月21日（水）16:00-17:30

■場所：国立研究開発法人 科学技術振興機構 東京本部（サイエンスプラザ）
地下1F大会議室

■主催：国立研究開発法人 科学技術振興機構「科学と社会」推進部

■話題提供者：

Hank Kune (Founder and Director, Educore)

吉田敦也（徳島大学地域創生センター センター長・教授）

■対象：多様なセクターの連携により日本を元気にしたいと考えているすべてのみなさま

■申込：下記 URL よりお申し込み下さい【11/19(月)まで】

<https://form.jst.go.jp/enquetes/komatsushima>

■本件に関するお問い合わせ先：嶋田一義（「科学と社会」推進部 調査役），
kshimada@jst.go.jp

JST 未来共創イノベーション活動支援事業に採択され、徳島大学を中心に活動が始まっている「こまつしまリビングラボ」。今年の11月、欧州でイノベーションキャンプを数多く手がける Hank Kune 氏が来訪されてイノベーションキャンプを開催します。イノベーションキャンプ後に JST にお立ち寄りいただき、このキャンプの報告をしていただきます。

報告を聞いた後、今の日本の地域活性化にはどのような課題があり、地方大学はどのような役割を果たせるのか、そして私たちの役割は何かを、「こまつしまリビングラボ」を例に議論してみたいと思います。

論点は以下の3つです。

- ・ 地域活性化の課題（欧州と日本の共通点と相違点）
- ・ 地域における大学の役割（なぜ徳島大学はリビングラボを手がけるのか）
- ・ 私たちの役割（その地域以外からの参画と持続可能性の創出）

地域のニーズにどのようにアンテナを張り、どのように仕事を発展させていけばよいかという問題意識をお持ちのみなさま、ぜひお集まりください。

【アジェンダ】

16:00-16:10 ゲストの紹介と趣旨説明

16:10-17:00 こまつしまリビングラボイノベーションキャンプ報告

こまつしまリビングラボの挑戦（吉田敦也 教授）

イノベーションキャンプの振り返り（Hank Kune 氏）

17:00-17:30 Q&A とディスカッション

ファシリテーター（嶋田一義）

* 18:00 から近所で懇親会を企画しています。参加できる方はお知らせ下さい。

(ご参考)

こまつしまリビングラボ

「徳島大学 “こまつしまリビングラボ (KLL)”」は、これまで一つの組織や個々の取り組みだけでは解決できなかった地域社会の根本的問題について、市民が主役の未来思考な「場」を作り、斬新な解決策を見つけてアクションにつなげていこうという取り組みです。

<https://kll.itlab.org/>

<https://www.jst.go.jp/sis/funding/insupport/#252>

リビングラボ

リビングラボ(Living Lab)は、北欧から始まり、欧州、現在では世界的な広がりを見せている、ユーザや市民参加型の共創活動です。

<http://www.futurecenteralliance-japan.org/innovation/livinglab>

イノベーションキャンプ

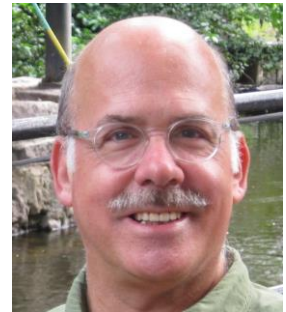
イノベーションキャンプは、実社会へのインパクトを目指す新しいアイデアや洞察を作り出し社会課題に挑戦する手段です。4重らせん(政府、学術、産業、市民社会)のステークホルダーや専門家による経済的、社会的、技術的、文化的、そして環境面の課題への取り組みや斬新な解決への挑戦がありえます。もともとの手法は、フィンランド・アールト大学と、ニュークラブオパリによって2009-2012年に開催された「社会イノベーションのためのアールトキャンプ(ASCI)」で開発されました。

<http://s3platform.jrc.ec.europa.eu/documents/20182/198909/Innovation+Camp+Methodology+Handbook/3e201fe6-ff13-429d-8105-a09140eb1dd7>

Hank Kune 氏

オランダ Educore bv の設立者・ディレクター(1991~)。Future Center Alliance (FCA)の共同設立者・理事。政府等の機関のイノベーション、起業家的学習、組織開発、組織刷新に関するプロジェクトへのアドバイスを専門とし、とくに複雑な社会的、社会政策的な状況における実践的な問題解決に取り組む。イノベーションキャンプの方法論をつくったメンバーの一人であり、欧州におけるイノベーションキャンプの第一人者である。

(11/9のサイエンスアゴラキーノートセッションにも登壇予定)



吉田 敦也 氏

大阪大学助手、京都工芸繊維大学助教授を経て、2001年より徳島大学教授。2007より徳島大学地域創生センター長。専門はヒューマンインタフェースデザイン。長年にわたり地域創生の実践とリーダー育成に取り組み、2007年、第7回インターネット活用教育実践コンクールにて文部科学大臣賞、2011年 総務省四国総合通信局長表彰。2015年9月には国立大学初の徳島大学フューチャーセンター[A.BA]のデザインと設置で第29回日経ニューオフィス賞、四国ニューオフィス推進賞を受賞。2018年7月には米国オレゴン州ポートランド州立大学(公共サービスセンター)シニアフェローの称号を受け、地方におけるグローバル人材育成とイノベーションの「場」づくりを牽引している。

